# 福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

2025 年　2 月　28 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人　東京都福祉保健財団理事長　殿

〒　170-0004

所在地　東京都豊島区北大塚２－２４－５　ｽﾃｰｼｮﾝﾌﾛﾝﾄﾀﾜｰ2F

評価機関名　株式会社　地域計画連合

認証評価機関番号　機構　02　―　002

電話番号　03-5974-2021

代表者氏名　江田　隆三　印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号 | | 評価者氏名 | 担当分野 | 修了者番号 |
| | ① | | | |
| | ② | | | |
| | ③ | | | |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 福祉サービス種別 | 認可保育所 | | | |
| 評価対象事業所名称 | 久が原保育園 | | | |
| 事業所連絡先 | 〒 | 146-0085 | | |
| | 所在地 | 東京都大田区久が原2丁目16番17号 | | |
| | TEL | 03-3751-4651 | | |
| 事業所代表者氏名 | 生方　美恵子 | | | |
| 契約日 | 2024 年　4 月　1 日 | | | |
| 利用者調査票配付日（実施日） | 2024 年　6 月　20 日 | | | |
| 利用者調査結果報告日 | 2024 年　9 月　25 日 | | | |
| 自己評価の調査票配付日 | 2024 年　6 月　20 日 | | | |
| 自己評価結果報告日 | 2024 年　9 月　25 日 | | | |
| 訪問調査日 | 2024 年　10 月　1 日 | | | |
| 評価合議日 | 2024 年　10 月　1 日 | | | |
| コメント（利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入） | ・事前説明にあたっては、令和6年度方式の評点基準、確認根拠資料の準備について、わかりやすい独自資料を用意し、事業者の負担を軽減する工夫を行っている。<br>・分析シートは記入のポイントを用意し、効果的、効率的に情報が整理できるよう工夫を行っている。<br>・確認根拠資料は、訪問調査の概ね3週間前までに評価機関への提出を依頼し、根拠の事前確認を行ったうえで訪問調査を実施し、訪問当日は事業所の課題や良い点を把握するためのヒアリングに重点を置いて実施している。<br>・合議は、訪問調査終了後、同じ日のうちに、速やかに実施している。 | | | |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
- ◉ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2025 年　2 月　25 日

事業者代表者氏名　生方　美恵子　印

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：認可保育所〕　　令和6年度

《事業所名: 久が原保育園》

| | |
|---|---|
| 1 | **理念・方針 （関連　カテゴリー1　リーダーシップと意思決定）** |
| | 事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、<br>特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述<br>（関連　カテゴリー1　リーダーシップと意思決定） |
| | 1）こども一人一人の個性を尊重し、遊びを通して豊かな経験を重ね「生きる力」の基礎を養う。<br>2）安全安心の下こどもが「保育園楽しかった」と、思える保育園作りを行う。<br>3）「食べる力は生きる力」と位置づけ、食育に力をいれ、健康な心と体を育てる。<br>4）「遊ぶ力は生きる力」と位置づけ、豊かな想像力と表現力が発揮できる環境を整える。<br>5）「関わる力は生きる力」と位置づけ、様々なふれあいや交流を通して、活動経験を豊かにする。 |
| 2 | **期待する職員像 （関連　カテゴリー5　職員と組織の能力向上）** |
| | （1）職員に求めている人材像や役割 |
| | 職員本人が、いつも元気で優しい気持ちを持ち、こどもを尊重し人権を守った対応をする。こどもの発達、興味に合った環境を整えこどもが健やかに育つように一生懸命業務に取り組む。こどもの気持ちに寄り添いこどもの身になって保育をする。 |
| | （2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） |
| | ・こどもと真剣に向き合い優しく接し思いやりが持てる職員。<br>・こどもにはいつも肯定的な対応をしてこどもが職員と一緒にいると安心感を得られるような職員。<br>・職員自身が元気で前向きな職員。 |

《事業所名: 久が原保育園》

| | |
|---|---|
| 調査対象 | 2024年6月20日現在の施設の利用者(保護者) 75世帯(利用者総数 89名)を対象とした。 |
| 調査方法 | WEBアンケート。施設にて担任が保護者に手渡しする形で案内状を配付。保護者任意のデバイスにてアンケートに回答。 |

| | |
|---|---|
| 利用者総数 | 89 |
| 利用者家族総数(世帯) | 75 |
| 共通評価項目による調査対象者数 | 75 |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数 | 63 |
| 利用者家族総数に対する回答者割合(%) | 84.0 |

## 利用者調査全体のコメント

総合満足度(大変満足、満足を合計した割合)は、(98%、62人)となっている。

●各設問のうち、「はい」の比率が高かった上位は、以下の項目であった。
問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか
(100%、63人)

問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか
問11. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか
(各々 98%、62人)

## 利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|---|---|---|---|
| コメント | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 63 | 0 | 0 | 0 |
| 集団生活でお友達や先生方と過ごす時間はかけがえのない時間だなと感じてます。保育園で過ごした話を最近とてもよくしてくれます。成長をとても感じています。ありがとうございます。<br>園で覚えて出来るようになったことが多く、毎日成長を感じて園には感謝しています。<br>成長に合わせた遊びを通じて、体の発達やお友達との関わり方をまなぶ環境になっています。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 62 | 1 | 0 | 0 |
| 泥んこ遊びや色水遊びなど家庭ではやってあげられないことを保育園で体験出来てとてもありがたいです。<br>食育や虫の飼育、ブロック遊びやごっこ遊びなど、様々な遊びを提案してくださっています。<br>他学年交流があったり季節イベントも催していただいており、刺激になっていると思います。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 59 | 3 | 1 | 0 |
| 家庭では到底できないような工夫が盛り込まれていて感謝です。<br>家では偏食で食べてくれないものも園では食べているようで大変助かっています。<br>家庭ではカバーしきれない凝ったメニューや、レシピ共有でいただく簡単に作れるメニューなど幅広く対応いただきありがたいです。<br>などの意見があった。 | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 57 | 5 | 1 | 0 |
| 子どもたちがやりたい同じ遊びを何十分も続けてくださるなど、先生方は本当に素晴らしい保育を提供してくださいます。どの行事も楽しませていただいています。<br>散歩時に出会う消防士さんなどとのふれあいが微笑ましく、本人も嬉しいようです。<br>戸外活動も話に聞く他の公立園より出かけているので関わりはより多く持たれているかと思います。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 55 | 8 | 0 | 0 |
| お迎えが遅れる時に電話をするとすぐに対応していただけるのでとても助かります。<br>幸いそのようなことは発生していませんが、恐らく対応してくださると思います。<br>当日スポットは空きがあれば17時までの連絡で対応いただいてます。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 56 | 7 | 0 | 0 |
| 入ってはいけないところにテープを貼ったり、大人に向けてもルールがあったり、防災訓練があったりと安全対策がなされていると思います。<br>保育中の安全配慮は特に気になることはありません。保育園の玄関のオートロックも、以前は番号が変更されなくて心配でしたが、今年度は番号も更新されました。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 55 | 8 | 0 | 0 |
| 行事や他学年との交流会など参加できるよう、前もって声をかけて頂き、調整できるよう相談できる環境にありとてもありがたい。<br>土日休みの仕事の方と、平日休みの方に配慮し、年に2回の保護者会は平日/土日で振り分けるなど、様々な方への配慮があります。<br>保護者参加の行事は、基本的には土曜日に設定してあるので参加しやすく助かっています。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 61 | 2 | 0 | 0 |
| どの先生も気さくに話しかけられる雰囲気。その日あったこと以外にも園でのエピソードをそれぞれの先生が話してくれる。園での生活が想像でき安心して預けられると感じる。<br>送り迎えの時間に連絡帳に書いた以外のことでも話をしてもらっています。<br>連絡帳でのコメントや、何かあれば相談を受けていただける環境かと思います。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 60 | 3 | 0 | 0 |
| 一日で砂利だらけになる玄関もいつも次の日には綺麗にされている。園庭の花壇も綺麗に花が咲いていて帰り際子どもが綺麗だよと話してくれる。<br>清潔感があり、過ごしやすいです。<br>建物は古いですが、内装を改築したり、整理整頓して衛生的に管理されてます。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 57 | 4 | 2 | 0 |
| 園長先生はいつも気持ちよく挨拶してくれ、ちゃんと名前を呼んで子供にも話しかけてくれます。先生方は信頼できる人ばかりで、本当に恵まれた環境だと感じています。<br>それぞれのパパ、ママに誤解のされる言い方ではなくとても気にかけてお話しされているんだなと思っています。<br>などの意見があった。 | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 62 | 1 | 0 | 0 |
| 熱が出た時は、先生が近くで看病してくださるなど、本当に丁寧に保育をしてくださり感謝です。<br>適宜病院に連れて行ったり、看護師の方が症状を見てくださり、お迎えの時に怪我した時の様子を詳しく伝えてくださるので、特段心配事はありません。<br>担任の先生や看護師が丁寧に保育園での子どもの様子を伝えてくださるので、大変感謝しています。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 52 | 11 | 0 | 0 |
| 未だそうした経験がないのですが、恐らく適切にご対応いただけると想像しています。<br>実際にトラブルとその対応を見たことはないので、判断できないが、その他の行動からは信頼できると予想できる。<br>まだ子ども同士のトラブルを経験していませんが、日頃の先生方の様子から信頼できると感じています。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 59 | 4 | 0 | 0 |
| 一人ひとりに寄り添って接していただいていると感じます。<br>上の子は曖昧なことが嫌いだったり、お友達とのコミュニケーションがうまくできないことがありましたが、先生方に家庭での様子や若葉の家の定期外来の様子を伝えることで、子供の特性を理解し、本人が安心して保育園で過ごせるよう、丁寧に対応してくださいました。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 53 | 8 | 2 | 0 |
| 信頼できます。<br>といった意見があった。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 55 | 7 | 0 | 1 |
| 保護者会のスライドで分かりやすく伝えてくださったり、クラスだよりで情報発信してもらっています。<br>毎日、丁寧に、伝わりやすい言葉で連絡帳を書いてくださっていることに感謝しています。見えないところにいても我が子の姿が想像できます。また、送迎時に具体的な姿も伝えていただけるので日々どのように生活をしているかがよりわかります。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 53 | 10 | 0 | 0 |
| 園長先生がいろいろ対応して頂けるので助かります。<br>本人が怪我をした・持ち物が異なることにあとで気づいた場合、説明を求めれば誠実に対応してくれます。(本人の勘違いである場合もある)<br>入園説明会の際にも園長より「何か困ったことがあれば教えてください」とのお話があり、きちんと対応していただけると感じています。<br>などの意見があった。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 42 | 19 | 2 | 0 |
| 園長からの説明があり、掲示もあります。<br>入園時の口頭説明や、冊子での記載で窓口がある事を把握しています。<br>などの意見があった。 | | | | |

## Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

| No. | 共通評価項目 |
|---|---|
| 1 | カテゴリー1<br>リーダーシップと意思決定 |

**サブカテゴリー1（1-1）**

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

**サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** 7／7

**評価項目1**
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | ◯ 非該当 |

**評価項目2**
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している | ◯ 非該当 |

**評価項目3**
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

**評点（〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている | ◯ 非該当 |

### カテゴリー1の講評

**園マニュアルから必要な部分を職員全員に配布して目指している事の理解を深めている**

保育理念、保育方針、保育目標、重要事項説明書は玄関に掲示し誰でも分かるようにしている。久が原保育園マニュアルは、分散しているマニュアルから重要な項目を整理して園オリジナルとして作成し、職員にはその中からこどもに関する項目(安全保育他)や重要事項説明書、職員の服務や心得他必要な部分を配布している。年度初めの職員会では、理念・ビジョン・基本方針等について改めて園長より伝え共通理解をしている。保護者には新入園オリエンテーションで重要事項説明書を説明し、また園だよりには園目標を必ず入れて理解が深まるようにしている。

**全員参加のプロジェクトチーム体制が課題に向けて機能する事で園運営を円滑にしている**

園長は職員会で職員全員に理念や基本方針の共通理解が深まるようにしており、職員面談シートを基にした個人面談では、職員一人ひとりが取り組むべき内容について確認や振り返りを行い、目指していることの実現に向けて助言や協力、見守りをしている。さらにプロジェクトチーム（PT）を体制化して全員参加で園の課題に取り組んでいる。安全対策、園内研修、福祉避難所・応急保育所、子育て支援、入園オリエンテーションの各PTで年間計画を立て、それぞれの機能を発揮することや、全員に各係の役割と責任を持たせることで円滑な園運営に繋げている。

**園の重要な案件はリーダー会で決定し園マニュアルでも決定事項の流れを明確にしている**

園の重要な案件はリーダー会（園長、副園長、主査、クラスリーダー計7名）で検討し決定している。園マニュアルには、園の決定事項の流れも案件別にフローを明確にしている。案件によっては各クラスから各リーダーに相談があり、副園長、園長に報告され職員会で議論して決定することもある。決定した内容は職員会で周知し欠席者や非常勤職員は議事録の確認をルールとしているが確認したことが分かる仕組みは検討されたい。なお、周知のタイミングによっては、毎日行う朝礼で説明し、朝礼ノートの記入後、各代表者がコピーをしてクラスで共有している。

| 2 | カテゴリー2 |
|---|---|
| | 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 |

サブカテゴリー1（2-1）

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

**サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** 6／6

評価項目1
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

**評点（〇〇〇〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | ◯ 非該当 |

サブカテゴリー2（2-2）

実践的な計画策定に取り組んでいる

**サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** 5／5

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

**評点（〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | ◯ 非該当 |

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | ◯ 非該当 |

カテゴリー2の講評

### 保護者の意向は行事後のアンケートの実施や日々の送迎時に把握し、素早く対応している

保護者参加の行事後にはアンケートを実施し、後日結果を集約してクラスだよりで保護者に提示している。また、送迎時や個人面談時に気が付いたことがあった場合は、すぐに園長、副園長に報告し、素早い対応をしている。現在、運動会および保護者会実施後には公立園共通で電子アプリのアンケートを実施しているが、それ以外は園の判断となる。今回の利用者調査でも貴重な意見が多く集まっていることから、年度末には園の取り組みに対する総合的なアンケートで、運営上の評価や指摘事項、課題が把握できる項目を園で考え、実施に向けた検討を進めたい。

### 職員の意見や要望、気が付いた事はいつでも園長・副園長に報告されすぐに検討している

職員の意見や要望は年に2回ある職員面談シートを基に、園長と1対1での話し合いを必ず確保して職員の意向を把握している。また、定例の面談以外でも日頃から提案や意見、気が付いたら小さいことでもすぐに園長、副園長に報告することができ、いつでも応じている。特に安全・安心な保育に向けて危険箇所や気が付いたことはすぐに報告があり、例えば猛暑続きで1・2階の廊下で遊ぶ機会が増え、室温が高いのでエアコンが必要なこと、0歳児の沐浴室の物を置く棚の設置、1歳児トイレの物を整理する棚の設置など環境改善にはすぐに対応している。

### 拠点園として地域地区会議を開催し近隣24園が参加し共通の課題で意見交換をしている

地域の情報は園長が地域力推進久が原地区委員会に参加し、各町会長や図書館長、民生委員の他地域の方が集まり、顔が見える関係になっている。防災の話など有意義な情報が得られている。また、拠点園として年2回久が原地区地域会議を開催し、地域の認可園17園、小規模2園、認証5園、企業主導型2園、区立園3園の合計24園が参加して、5月の開催時には「職員の力を引き出す人材育成」のテーマでグループ討議を行い、共通の課題について意見交換や情報共有する有意義な場となっている。得た情報に関しては必要事項を職員会で職員と共有している。

| 3 | カテゴリー3 |
|---|---|
| | 経営における社会的責任 |

| サブカテゴリー1（3-1） | | |
|---|---|---|
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | **サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** | **2／2** |

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。 | ○ 非該当 |

| サブカテゴリー2（3-2） | | |
|---|---|---|
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | **サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** | **4／4** |

評価項目1
利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | ○ 非該当 |

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | ○ 非該当 |

サブカテゴリー3（3-3）

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

**サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** **5／5**

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

**評点（○○）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | ◯ 非該当 |

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

**評点（○○○）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | ◯ 非該当 |

カテゴリー3の講評

### こどもの人権についてのグループ討議は気づきのきっかけを作る場として継続している

年度初めの職員会では職員の服務や心得などを全員で読み合わせしている。また、こどもの人権に関しては、人権擁護のチェックリストを各自に配付し、「振り返ってみてください」と伝えている。昨年は「こどもの人権に配慮した保育を考える」園内研修を行い、事例を基に共通のテーマでグループ討議を行い、振り返りをしている。クラスを超えたグループで事例に基づき「どう思うか」お互いに話し合う時間は、こどもの人権に対して「保育について語り合う」時間として、気づきのきっかけを作る良い場となり現在も継続して行っている。

### 相談や苦情の受付窓口及び第三者委員の連絡先を掲示して保護者に分かりやすくしている

玄関には相談・苦情の窓口と第三者委員の連絡先を掲示し、2階には大田区のオンブズマンのポスターも掲示している。苦情の受付は今までなく、普段から苦情に発展させないような迅速な対応を心がけており、マニュアルでも大きな苦情にならないための日頃の心構え、苦情への対応策を明確にして周知している。園の第三者委員は区からお願いした民生委員2名の方で園長、副園長も面識はない。現場園として第三者委員とは、園を知ってもらう機会を作り、顔見知りになることで何かあった時に助けてもらえる関係づくりに向けて対応方法の検討を進められたい。

### 園は多くの来園者を迎え地域に出向いて相談や講演も行い地域に開かれた園となっている

園には多くの園見学者や地域支援イベント、育児応援券での来園、公開保育や園庭開放で近隣保育施設の保育士との交流、実習生や中学生の職場体験等、多くの来園者があり園内の保育の様子や園運営に関すること全てを公開して地域に開かれた園となっている。また専門職を活かし看護師や栄養士が児童館や地域に出向き相談を受けたり講演をしたりしている。看護師は年2回ほど保健関連事項を児童館や子育て広場で講演している。ちょうど訪問時には看護学生の実習生3名を受入れ翌日からは中学生2名の職場体験の受入れも予定し地域との関係を深めている。

| 4 | カテゴリー4 |
|---|---|
| | リスクマネジメント |

サブカテゴリー1（4-1）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目1
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
評点（○○○○○）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | ○ 非該当 |

サブカテゴリー2（4-2）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目1
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている
評点（○○○○）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | ○ 非該当 |

カテゴリー4の講評

### 園は安全対策として怪我報告書管理やヒヤリハット管理を行い再発防止に努めている

園は事故の未然防止や再発防止に向けてケガ報告書管理やヒヤリハット管理を行い、現在怪我は1日1～2件発生し看護師が集計分析して対策を共有している。ヒヤリハットは月に6件程集まっており、昨年までは職員の記入の負担軽減から休憩室のノートで管理していたが、活用されていない事から安全対策プロジェクトチームで見直しを行い、月案反省時に裏面に各クラスのヒヤリハットと話し合った対策も含めて報告する事に変更している。今後も今以上に職員の日頃のヒヤリの気づきが発信でき皆で共有できる簡便な方法を継続検討していく事に期待したい。

### 事業継続計画の内容を点検、見直し修正を行い職員全員の理解を深めるよう進められたい

園の事業継続計画（BCP）は職員会で策定している事を伝え、保護者に向けても同様に説明している。ただし、園長は内容の深い理解までは至っていないと考えている。今後は職員間で内容の点検や見直しを進めていく事で、例えばBCPに記載された内容が環境の変化などで現実と違うケース等があれば話し合いで修正し理解を深めていきたいと考えている。また当園は福祉避難所の対象園であり、専門のプロジェクトチームも作り、ホールで段ボールの避難エリアを設営する訓練を実施し職員の理解が深まっており、BCPに繋げる事で理解促進を進められたい。

### 個人情報は厳重に管理し使用時の園ルールも明確で園の情報管理は適切に行われている

園の児童票等の紙媒体の個人情報は鍵付き書庫に厳重に保管している。児童票の内容の追記に関しては原則事務所内で行い持ち出しが必要な場合は園長・副園長に事前に了承を得て児童票使用管理簿に記入する事をルールとしている。またデジカメ等の電子媒体も同様に鍵付き書庫で保管し、使用時にはそれぞれの使用管理簿に記載する事が守られている。PCは事務所内で使用し顔認証とパスワードで管理して機密性を高めている。プライバシーポリシーに関して職員は毎年確認し、サインをし、保護者に向けては重要事項説明書内で知らせて同意書をもらっている。

| 5 | カテゴリー5 |
|---|---|
| | 職員と組織の能力向上 |

| サブカテゴリー1（5-1） | | |
|---|---|---|
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | **サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** | **12／12** |

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | ◯ 非該当 |

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している | ◯ 非該当 |

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

**評点（〇〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | ◯ 非該当 |

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

**評点（〇〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | ◯ 非該当 |

サブカテゴリー2（5-2）

組織力の向上に取り組んでいる

**サブカテゴリー毎の標準項目実施状況** **3／3**

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

**評点（〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | ◯ 非該当 |

カテゴリー5の講評

園長は職員の育成はこどもを尊重し人権を守った対応が出来るようにする事と考えている

園長の人材育成に向けた基本的な考え方は、職員がいつも元気で優しい気持ちを持ち、人との関わりをしっかりとし、こどもを尊重することを一番大事に考え、人権を守った対応が出来るようにする事と考え、園長面談時に伝えている。また職員面談シートの中には、職員個人のキャリアデザイン(めざす将来像と実施に向けたプロセス)を記入する項目があり、園長と個人面談で本人のキャリアパスについて確認する場合もある。今後は、キャリアデザインの資料とともに区で定めている人材育成基本方針の説明も合わせて行い職員の理解を高められたい。

園の研修は園内公開保育の実施も含め園内研修プロジェクトチームが中心に企画している

園内研修については、園内研修プロジェクトチーム（PT）を中心に今年度の計画を策定し、年間5回（人権について、幼児、乳児のリトミック、集団の運動遊び他）、園内公開保育を全6クラスで実施している。また地域支援PTと協力して近隣保育施設の保育士に向けた公開保育の支援も行っている。職員の研修機会は、保育サービス課主催の職場研修の内20項目の研修テーマに受講者を特定して受講を促している。職員面談シートの研修計画の希望に関しては、対面研修だけでなく文献を読む事も研修と位置づけ、本のタイトルを書くように促している。

職場のスマートワーク推進について一度職員全員で話し合う場の設定を検討されたい

安心して働き続けられる職場づくりに向けて、現在0～2歳児担当と幼児担当との仕事量の差や個人で抱える事務仕事のバラツキなどを課題として捉えている。経営層はフリー職員を支援体制に位置付け、事務内容を共有して分担する等対策を講じているが、職員調査にも少数の改善したい事として記述もある。ヘルプの体制を組む事や事務所として対応している事が職員全員には見えていない部分もあると考えられる。区からはスマートワーク推進の目標もある事から、一度職員間で話し合う場を作り、知恵を出し合う事も見える化に繋がる事から実施に期待したい。

| | カテゴリー7 |
|---|---|
| 7 | 事業所の重要課題に対する組織的な活動 |

サブカテゴリー1（7-1）

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

大切な命を守るために安全・安心な保育を行う事を土台として基本方針があり、そのために園舎の老朽化による整備の必要性を感じる気づきや、職員の事故防止の意識をさらに向上させる必要があると考え、目標を「安全・安心な保育の実践」と定めて次の取り組みを始めた。
①安全プロジェクトチームは環境とともに防犯に対する意識も高めるため防犯訓練も取り入れる
②危険な箇所を発見したら即座に事務所に報告する事を職員に徹底した
③各クラスで毎月１回安全チェック表を基にチェックをする
④安全プロジェクトチームは園内外の点検を定期的に行い事故の予防に向け安全対策を講じる
取り組みの結果、職員は危機を感じると直ぐに経営層に報告する事が定着し迅速な対応に繋がった。また自分でできる部分は応急処置を行い、危険箇所についてはこどもの環境の視点で確認するようになり、職員は危険箇所に対して常にアンテナを張って環境を見る習慣がついてきている。事故は0件が理想だが最小限に留まっていると思う。
今後も基本である安全・安心は継続、拡充をして取り組んでいき、各クラスの毎月の安全チェック表へのチェックは継続していく。なお、防犯訓練はこれから実施する計画をしている。

| | |
|---|---|
| 目標の設定と取り組み | ◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<br>○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<br>○ 具体的な目標が設定されていなかった |
| 取り組みの検証 | ◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<br>○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）<br>○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| 検証結果の反映 | ◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<br>○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<br>○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目１で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園では施設の老朽化が進み整備の必要性を感じ、安全な保育を進めるうえで大切な命に関わることもあり、職員の事故防止の意識の向上を図るため、安全で安心な保育を実践することを目標として取り組んでいる。
園の安全対策プロジェクトチームの活動も踏まえて、職員には危険な箇所を発見したら即座に事務所に報告することを徹底し、またクラス毎に毎月１回は安全チェック表を基にチェックする事を継続している。また、安全対策プロジェクトチームは園内外の点検を定期的に行い、事故を予防するための安全対策を講じていくことを実施している。
取り組みの結果職員の意識は高まり、常に危険箇所がないかアンテナを張って環境を見る習慣がついてきたことは大きな成果と言える。職員は危険を感じるとすぐに報告に来るため、迅速な対応ができ、修繕可能なところは早急に修繕に繋げている。
今後も各クラスの毎月の安全チェック表へのチェックを継続し、安全・安心な保育実践、また対策の拡充に取り組むとして、PDCAを回している。

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

これからの保育園に求められていることは「在宅家庭の子育て支援」であるが、実施している子育て支援イベントへの参加人数が少なく、昨年以上に多くの方に参加してもらえるようにすることを課題と捉え、目標を「地域の子育て支援の充実を図る」と定めて次の取り組みを始めた。
以前から「子育て新聞」を久が原特別出張所、図書館、銭湯、子どもクリニックなどに置かせてもらい自由に取ってもらえるようにしていることから、
①今年度から「子育て新聞」の冊子に保育園の園庭の紹介他を入れてリニューアルさせた
②ポスターの掲示や見学会の時に案内をして多くの方々に参加を呼びかけ参加を促す
③参加してくれた保護者の方々の悩み相談、子育て相談に応じる
以上の取り組みの結果、5・6月に参加された保護者の方から、こどもの事で悩みの相談ができた事で、来て良かったとの感想ももらえた。また7月のイベント参加者は増えてきたものの、当日は熱中症アラートが出たために中止せざるを得なかったが、職員は今後も参加してもらえるように声掛けをしていくと意気込んでいる。
取り組みに関しては職員の意識が向上してきているため、引き続き在宅子育て家庭の子育て支援の充実に力を入れていく。

| | |
|---|---|
| 目標の設定と取り組み | ◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<br>○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<br>○ 具体的な目標が設定されていなかった |
| 取り組みの検証 | ◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<br>○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）<br>○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| 検証結果の反映 | ◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<br>○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<br>○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園も保育園に求められている子育て支援を実施しているが、参加人数が少ないことから、その原因を考え、昨年よりも多くの参加をしてもらいたいと考えて、地域の子育て支援の充実を図ることを目標に取り組んでいる。
以前から園オリジナルの「子育て新聞」を久が原特別出張所、図書館、銭湯やこどもクリニックに置かせてもらい自由に持っていけるようにしているが、今年は「子育て新聞」に園庭の紹介を入れたりするなどリニューアルをして、さらにポスターの掲示や見学会の時に誘うなど、多くの方々に参加を呼びかけている。また、参加してくれる保護者からの、こどものことで悩んでいる相談には積極的に受け、できることを伝えたりアドバイスしたりしている。
実施してきた結果、7月から参加者が増えてきたことは成果と言える。最大の成果は、イベント当日には熱中症アラートが出て中止になることもあったが、職員の意識は継続して、参加してもらえるように声掛けしようと意気込んでいる姿勢が見られていることと思われる。
今後も職員の意識が向上してきているために、引き続き子育て支援の充実に力を入れていくとしてPDCAを回している。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

| No. | 共通評価項目 | | |
|---|---|---|---|
| | サブカテゴリー1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 4／4 |
| | 評価項目1<br>利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | 評点（○○○○） | |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | ◉ あり ○ なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している | ○ 非該当 |
| | ◉ あり ○ なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている | ○ 非該当 |
| | ◉ あり ○ なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している | ○ 非該当 |
| | ◉ あり ○ なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している | ○ 非該当 |

サブカテゴリー1の講評

### 利用希望者には区のホームページで園の紹介や空き情報、入園の手続きを知らせている

区のホームページには、全園共有の保育目標、保育時間、毎日の園との連絡方法、食事や保健などの情報と、入園申し込み方法や欠員リストなどが掲載されている。園の情報欄には、所在地、交通アクセス、連絡先の他に、園の概要として、保育目標や行事、園周辺の様子が掲載されるなど、情報を把握しやすくなっている。保育園の見学希望者には、見学の日程、申し込み方法などが掲載され、園を利用したい人に対して、手軽に情報を入手できるようになっている。

### 園の情報は子育てマップに掲載し、園独自に子育て新聞を発行し公共施設に配布している

園の情報の基本は区のホームページに掲載するとともに、区作成の子育てハンドブックには、所在地、電話番号のほかに、育児応援券、緊急一時保育、園庭開放などの情報を提供したり、地域で発行している子育てマップにも掲載している。地域の公立3園で作成しているポスターには、各園の地域子育て支援事業の年間計画が掲載され、園入り口の掲示板に掲示されている。園独自の子育て新聞は、2か月ごとに発行し、栄養や保健のコーナー、子育て相談などの情報を掲載し、出張所、図書館、園医、銭湯に置かせてもらっている。

### 見学の希望は、電話で申し込んでもらい、決まった見学会以外にも柔軟に対応している

園の見学会は区のホームページで確認し、直接電話で申し込んでもらい、受付名簿に記録し把握している。見学者の要望で見学会以外でも柔軟に対応している。見学は1回に5組ほどで、午前10時からと午後2時から実施し、45分程をかけて園内を案内と、保育内容を説明している。見学者には、副園長、子育て支援プロジェクトのメンバー5名が対応し、見学者用の冊子を配布して説明をしている。見学者からは、お迎え時の体温の目安、怪我の対応、連絡帳の形、外部講師の有無などの質問が寄せられ、丁寧に対応している。

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6／6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点（○○○）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○ 非該当 |

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点（○○○）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ○ なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○ 非該当 |
| ◉ あり ○ なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○ 非該当 |

サブカテゴリー2の講評

### 入園が決まるとオリエンテーションと面談を行い、重要事項の説明をして同意を得ている

入園の決定は、行政から保護者に連絡が行き、その後入園に必要な書類を園に取りに来てもらっている。入園オリエンテーションでの、重要事項の説明では、プレゼン用ソフトを活用して、園長、副園長、栄養士、看護師が専門性の部分を分担して説明をしている。保護者からは、緊急時の迎えや体温に関する質問があり、返答をしている。重要事項の説明に対する同意書と個人情報の利用目的の同意書は、オリエンテーション当日に提出してもらっている。

### 保育に必要な情報は統一した書式に記録され、入園前面談で把握し職員間で共有している

保育に必要なこどもの情報は、入園前の面談が実施され、事前に保護者に配布した児童票や児童調査票、食事摂取確認表等の書類を園長、保育士、栄養士、看護師が、保護者に対して、記載内容を確認している。新入園児健康診断と0歳児の面談は、別日に設定し、きめ細かく把握するようにしている。入園面談で得た個別の情報は、新入園児面談報告書に面談を担当した職員が記録し、職員会で報告をして共有し、きめ細かい支援ができるようにしている。

### 慣れ保育の予定は、個々のこどもの状況に応じて配慮し、概ね1週間を目安にしている

保護者には、個別面談で慣れ保育の予定の流れを説明している。慣れ保育は、個々のこどもの状況に配慮することを基本に、概ね1週間を目途に9時から開始し、1日目は午前のおやつ、給食を食べられたかを2日ほど様子を見て、午睡は途中で目覚めたらお迎えをお願いするなど3日ほど様子を見るなどの配慮をして、決められた保育時間になるようにしている。慣れ保育期間中は、副園長やフリー職員が応援に入り、こどもの不安の軽減に配慮できるようにしている。

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13／13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点（〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | ◯ 非該当 |

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点（〇〇〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している | ◯ 非該当 |

評価項目3
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点（〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | ◯ 非該当 |

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点（〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている | ◯ 非該当 |

サブカテゴリー3の講評

## こどもの情報や保護者の意向は保育活動や送迎時に把握し、統一した書式に記録している

こどもの情報は、入園時に把握した児童票や調査票を基に、入園後は0歳児から2歳児は家庭からの連絡帳で、幼児クラスは健康カードで把握している。また園での活動の様子は保育日誌に、健康面は保健日誌に記録し把握している。年1回の全園児対象の保護者との個人面談で保護者のニーズも把握し、こどもの様子を含め個人面談記録に記録している。これらの記録は組織で統一した様式を活用している。また、毎月クラスの打ち合わせを行い、こどもの個別の情報を共有し、振り返りを行っている。

## 全体的な計画を基に保育で大切にしたいことを共有し週の様子は活動ボードで伝えている

区と園長会で作成した全体的な計画を基に保育が進められるよう、年間の指導計画を作成すると、クラスとして保育で大切にしたいことを含め、年間の計画内容を職員会で報告をし、共有している。年間指導計画は4期に分け、月の指導計画は月末に、週案は週末に、クラスで反省をし職員会で報告をしている。園だよりに、園目標の「健康で元気な子」「自分を好きな子」「友だちを大切にする子」を毎月掲載し、周知できるようにしている。今週のこどもの様子として、活動ボードをクラスの入り口に掲示し、日々の活動内容が分かるように伝えている。

## こどもの情報は、毎朝の朝礼で共有し、個別の事例はクラスで話し合う機会を設けている

指導計画や保育日誌は、事務所の書棚に保管し非常勤職員も含めいつでも確認できるようにしている。日々のこどもの情報は朝礼で前日のこどもの健康状態やアレルギー食、保育体制などを確認し朝礼ノートに記録している。その他に連絡したいことなどがあれば個々に記録し、それをコピーして全職員に周知できるようにしている。0歳児から2歳児はクラスで昼礼を行い、生活表を基に午前中のこどもの様子を確認し、きめ細かい関わりができるようにしている。配慮を必要とする個別の対応事例はクラスの打ち合わせで話し合い、職員会で結果を報告している。

| 5 | サブカテゴリー5 | | |
|---|---|---|---|
| | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 5／5 |

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点（〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | ◯ 非該当 |

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点（〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ◯ 非該当 |

サブカテゴリー5の講評

### 区の個人情報保護条例に沿って説明をし、情報の保護を徹底できるようにしている

区の個人情報保護条例に沿って、情報の保護や関係機関との連携を図っている。入園時の重要事項の説明の時に、プライバシーポリシーとして個人情報の定義や収集、管理、外部提供について伝え、個人情報の利用目的について、児童調査票、連絡帳、写真・ビデオ等の7項目を挙げ、利用についての承諾を得るようにしている。職員に対してもプライバシーポリシーについて、年1回確認をし、署名をしてもらっている。保護者には、児童保育要録の小学校への提出や区立園間の転園時の個人情報の受け渡しについても承諾を得るなど、情報の管理を徹底している。

### こどもの羞恥心に配慮した関わりや、こどもの人権をテーマに園内研修を実施している

こどもの羞恥心に対してトイレの便座の前につい立を置き、おもらし後の着替えの場所にもつい立を置くなどの配慮している。着替えの際にはラップタオルを使ったり全裸にならないようにしている。プライベートゾーンの話は、4、5歳児に向け看護師が予定している。こどもの人権をテーマに不適切な保育の事例を挙げ、こどもの人権を傷つけない関わり方と言葉かけについて、グループ討議ではなく職員同士で会話をすることを狙いとして園内研修を実施している。職員には人権擁護のセルフチェックリストを配付し時おり振り返って見てくださいと促している。

### 保護者の価値観に配慮した対応やこどもの見方を伝えたり、研修に参加し報告をしている

保護者からの宗教に係る要望で、散歩先に配慮したり、こどもへの問いかけの時には、「どこに出かけた？」という話しかけではなく、「楽しかったことは？」と聞くなど、生活状況に配慮した聞き方を心掛けるようにしている。また、保護者と子育ての話をする中で、こどもだからと下に見ないことや、人として対等に見る目線の大切さを伝えるようにしている。虐待防止の視点で、育児困難家庭に対応する研修に参加し、職員会で報告をして情報を共有できるようにしている。

| 6 | サブカテゴリー6 | | |
|---|---|---|---|
| | 事業所業務の標準化 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 5／5 |

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点（〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ◯ 非該当 |

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点（〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ◯ 非該当 |

サブカテゴリー6の講評

### 業務の標準化を図るために、区のマニュアルを職員に配付して読み合わせをしている

業務の標準化を図るために、区で作成している共有マニュアルと園独自のマニュアルが整備され、それに沿って園の運営が行われている。マニュアルは、保育方針、園運営、資質向上に向けて、危機管理、健康保健計画、栄養給食関係など多岐にわたる内容になっている。職員には、児童憲章や全国保育士会倫理綱領は日誌に挟むように伝え、職員の服務や心得、安全保育の手引きなどを個別に渡し、いつでも確認できるようにしている。年度の初めの職員会で、職員の服務、職員の心得の内容を確認し、0歳児の保育や安全保育の手引きは読み合わせをしている。

### 年度初めに安全安心の保育ができるように会議で共有し園舎内の安全点検を実施している

年度の初めの職員会で、園長からの「こどもたちの安全・安心を第一に保育をすることを考え、こどもに今日も楽しかったと感じてもらえようにしよう」の話を基に確認と共有をしている。園だよりでも、門扉の施錠や登降園時の送迎に関して、保育の安全確保のお願いをしている。園舎内外の安全チェックを毎月1回、避難訓練時にクラスごとに実施し、チェック表に記録している。危険個所を発見した時には、園長に速やかに報告することになっている。

### 業務水準の見直しに当たっては、保護者アンケートや職員からの意見で改善をしている

業務の見直しに当たっては、マニュアルは行政で必要に応じて見直しが行われ、園長会で報告され、職員に周知している。保護者から行事の終了時や保護者会に向けて、電子アプリや紙面でアンケートを取り、例えば、保護者会では、懇談の時間を取ってほしいの要望があり、保護者会当日の流れの中に取り入れるなどの工夫をしている。行事の終了後には、職員の反省とともに保護者からの意見は次年度の開催に活かすようにしている。フリー職員の業務内容に対して、事務量の多さの意見があり、事務内容を検討して振り分けるなどの改善をしている。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

| | サブカテゴリー4 | | |
|---|---|---|---|
| | サービスの実施項目 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 36／36 |

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

評点（〇〇〇〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】<br>小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | ◯ 非該当 |

評価項目1の講評

保育中の様子や保護者との会話などからこどもの全体的な姿を把握し保育を行っている

入園当初は保護者が記入した児童票や成育歴、既往歴等の書類や入園時の面接などからこどもの生活状況を把握している。入園後は連絡帳（0～2歳児）や登降園時の保護者との会話からこどもの姿を把握している。日々の保育を通して把握した一人ひとりのこどもの全体的な姿を基に、こどもの情報はクラス打ち合わせや職員会で共有したうえで、毎月の指導計画や個別の指導計画を作成し、それらを踏まえて日々の保育を行っている。

こどもの興味や関心が広がるよう環境構成の工夫や異年齢交流を実施している

0・1・2歳児の保育室は食べる、寝る、遊ぶの生活と遊びが混在しないように空間設定をして、こどもの導線を確保をしている。玩具はそれぞれの年齢にあわせてパズル、ブロック、ままごと道具、絵本などを配置し、季節や興味に応じて入れ替えをしている。3・4・5歳児については、こどもたちが触れあい、関わって遊べるよう縦割り保育を行い、「なかよし会」として計画し年に3回～4回程度実施している。実施後にはこども同士の関わりや遊びの様子の写真にコメントをつけ、行事トピックスとして掲示して保護者に見てもらっている。

就学に向け小学校と連携を取り、こどもや保護者の不安の軽減ができるよう努めている

小学校には保育所児童保育要録を送付し、配慮を必要とするこどもについては保護者と話し合って就学支援シートを作成して提出している。小学校への円滑な接続に向け、コロナ禍で実施できずにいた交流を予定している。1年生との交流を学区の小学校で1月に実施を予定し、訪問して教室の様子を見たり、質問や交流を通して小学校がどういうところなのか、雰囲気が感じられるようにしたいと考えている。保護者に対しては、就学までに身につけたいことや小学校の現状等を、12月に校長の講話として聞く予定にしている。

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

**評点（〇〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ◯ 非該当 |

評価項目2の講評

### 登園時には連絡帳や口頭で家庭での様子を把握し、同時に健康観察を行っている

登園時には担任や早番担当の保育士が連絡帳や口頭でこどもの健康状態を把握するとともに、健康観察を行い顔色、機嫌、体温等を把握している。連絡帳は0～2歳児が使用し、体温・食事・睡眠、排便の有無等の健康に関することや、家庭でのこどもの様子と連絡を記入している。健康連絡カードについては3～5歳児が使用し、家庭で体温や体調を記入している。早番保育時に保護者から受けた連絡は、クラスごとの遅早連絡票に記入し、担任の出勤時に引き継ぎ、伝達漏れがないよう確認して保育を行っている。

### 基本的生活習慣の自立に向け、こどもの発達を把握して保護者と相談して進めている

基本的生活習慣の大切さについて、クラスだよりや給食だより、保健だよりに掲載するほか、保護者会にはプレゼン用ソフトを作成して説明している。排せつの自立に向けてトイレトレーニングに取りくむ際には、保護者と相談し、こどもの興味や排せつの間隔など、一人ひとりの発達を捉えて進めている。箸への移行に関しては、手指を使う遊びを取り入れたり、家庭での使用状況を調べ、こどもの手指の操作を見極めて、園での使用は5歳児頃から進めている。当初はスプーンやフォークも用意し、併用できるように配慮している。

### 降園時には保育中の様子やエピソードを一人ひとりの保護者に伝えることを心がけている

保育中のこどもの様子は連絡帳で知らせたり、活動ボードに週案とともに1週間分の記録を掲示している。降園時には、職員は連絡帳に記入するだけでなく、その日のこどものエピソードを伝えるようにしており、特に連絡帳がなくなる3歳児については、保護者の不安感を払拭できるよう、口頭で丁寧に遊びの様子やエピソードを伝えるよう心がけている。こどもの怪我や内容により、口頭で伝えたほうが良い場合には、担任や看護師、園長などが残って保護者に直接伝えるようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

**評点（〇〇〇〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉（発声や喃語を含む）や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | ◯ 非該当 |

評価項目3の講評

### ボードや絵カードを使って、こどもが見通しを持って活動に参加できるようにしている

こどもの主体性について自分で遊びを選び遊び込めるようにしたいと考え、自らで遊びたい玩具を選んだり、トイレ（排せつ）も一斉に行くのではなく、自分で決めそれぞれのリズムで行くようにしている。朝は職員の朝礼が終わってクラス保育に移行した9：15～9：30の間に、幼児組は絵カードを使って本日の保育の流れ（活動予定）を説明しており、こどもが見通しをもって生活できるようにしている。遊びに集中しているような時は、計画したことと違うことがあっても、こどもの発信や思いを受け止め、プログラムを変更して遊び込めるようにしている。

### 当番活動やさまざまな経験を通して楽しく表現活動ができるようにしている

こどもたちが興味や関心を持って取り組み、色々な表現活動に楽しく参加できるようにしている。音楽活動は毎月の歌、楽器遊びやリズム遊びを行ったり、制作は描画、季節の制作、運動会のTシャツ作り、リサイクル素材を使っての制作活動を行っている。小さなブロックを使って組み立てた作品は廊下に展示し、他クラスのこどもや保護者に見てもらっている。5歳児は事務所で日にちや曜日、天気を伝えた後、出席ボードを持ち各クラスを周り出席当番活動を行っている。緊張しながらも応答的なやり取りを楽しみ、言葉の感覚を養う機会となっている。

### 近隣公園への散歩に行ったり園庭の樹木や栽培物を通して四季を感じとっている

園庭は年齢ごとに使用する曜日や時間を決め、園庭で遊ばない場合には散歩に出かけている。近隣には公園が16か所ほどあり、写真を入れて散歩マップを掲示している。主に散歩に出かける場所は2・3か所であるが、散歩先で拾ったドングリや葉っぱ等を使って制作活動をしたり、ままごとに使って遊んでいる。園庭には梅、桜、金木犀、ミカン等が植えられ、春には花が咲いて、実がなり、秋には紅葉し四季を感じることができる環境がある。ミカンの木には毎年アゲハチョウが卵を産み、カブトムシやメダカとともに飼育をして、成長を楽しみに観察している。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点（〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ◯ 非該当 |

評価項目4の講評

### こどもが興味や関心をもっていることを捉えて行事を行っている

職員は行事について、七夕やお正月など伝統行事は日本古来のものとして、由来を知らせ、日本文化を体験する機会とし大切にしたいと考えている。保護者参加の行事については、日常のこどもの様子を見てもらい、安心してもらったり、親子で楽しむ機会となるようにしたいと考えている。今年の運動会は、こどもたちが興味を持っていることの中から担任が提案して、4歳児はパラバルーンに取り組み、5歳児は運動会のスローガンを決めて、何がやりたいのかみんなで話し合い、タイヤを組み立てて作った和太鼓の遊戯に取り組んでいるところである。

### こどもたちが話し合い、やりたいことを考え実現できるよう援助している

夏まつりに5歳児は、お化け屋敷をやると決まり、5月より何度か話し合う機会を設け、どんなおばけ屋敷がやりたいのか、何を作りたいのかイメージをしながら取り組んできた。担任はこどもがイメージしたものを図に書いて提示したり、制作への参加はこどもの意思に任せて見守り、こどももイメージした衣装等を意欲的に作る姿になっている。保育日誌に取り組みの様子や一人ひとりのこどもに対しての思いを丁寧に記入している。リハーサルの実施でさらにイメージがわき、当日は保護者参加もあり、終了後は園庭の梅ジュースで乾杯し満足感を味わっている。

### 保護者が参加しやすいように行事の日程を考え、年度当初に行事予定表を配布している

保護者が就労などに調整をつけて園行事に参加しやすいように年度当初に年間行事計画書を配布している。保護者参加の行事には運動会（土曜日）や保護者会（年2回実施）がある。土曜日に仕事の保護者もいるため、2回目の保護者会は平日に行い、幼児組については午前中はお楽しみ会、午後はクラス懇談会を行うなど工夫している。行事実施後には、アンケートを取り集約後はクラスだよりで知らせ、提案や意見は次回実施時に反映させている。こどもたちだけの行事については、取り組みの経過を毎日の活動ボードや、クラスだよりで保護者に知らせている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点（〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ◯ 非該当 |

評価項目5の講評

### 保育時間が長くなっても、少人数でくつろぎ、安心して過ごせるように配慮している

7時15分～19時15分までの12時間を開所しており、夕方の時間帯に非常勤職員が専任で1名勤務し、常勤職員はシフト勤務をしている。毎日同じ時間帯で専任の職員がいることで、前日のこどもの変化に気がつきやすく、状況が違うときには遅番の職員に報告して、こどもの状況の確認をしている。延長保育の利用者はスポット利用を含めても少人数であり、疲れている時にはござを敷いて横になれる場所を作ったり、ゆったりした中で安心して過ごせるようにしている。保護者への連絡事項は担任が遅早連絡票に記入し、伝達漏れを防ぐようにしている。

### 合同保育に移行する時には遊びを継続させたり専用の玩具を用意し楽しく遊んでいる

朝は7時15分～7時30分まで4歳児室で受入れ、0～2歳児は7時30分からクラス保育となる。幼児クラスは職員朝礼後にクラスごとの保育となる。夕方の保育は18時15分頃まで0～2歳児と、3・4歳児は各クラスで過ごし、5歳児は半数ずつが3・4歳児室で一緒に遊んでいる。少人数の場合、18時頃には4歳児室で全体合同とし18時20分から補食となる。延長保育時は遊んでいた玩具で継続して遊んだり、ぬりえやドールハウスなど延長保育用の玩具で楽しく遊んでいる。延長日誌には人数や遊びの様子が記入され翌日の保育に反映させている。

6 評価項目6
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点（〇〇〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている | ◯ 非該当 |

評価項目6の講評

### 喫食状況の確認をしたり行事食の提供などで、おいしく楽しく食べられるようにしている

給食はこどもの発達段階や栄養摂取量、嗜好、季節、行事などを考慮して、区の栄養士が献立を考えて提供している。献立は2週間ごとのサイクルメニューで提供し、新鮮な食材を使用して自園給食となっている。給食時には栄養士がクラス巡回をして、喫食状況や食材の刻みの大きさ、嗜好の確認を行い、職員も味付けなどについて伝えて、次回提供時に反映させている。行事食については、運動会前日にファイトランチ（カツ）や、オニライス（節分）、七夕そうめんなどが特別メニューとして提供され、こどもたちは喜んで食べている。

### アレルギー食を提供する際には、細心の注意を払い、誤食を起こさないようにしている

アレルギー食は、入園時に保護者と園長・栄養士・看護師等が面接を行い、医師による「生活管理指導表」を提出してもらい進めている。入園後も毎月１回保護者面接を行っている。アレルギー献立表を作成して、朝礼で職員間で内容を確認するとともに、夕方には調理師と明日の除去食の確認を行っている。提供する際には、名札とアレルゲンを記入した緑のトレーに除去食を載せ①厨房から持っていく時、②保育室で、③こどもに配膳するときの3回、２人で声出しをして確認し、アレルギーチェック表に記入している。食器も別にして配膳し、誤食を防いでいる。

### 栽培活動、クッキングなどの食育実践や保護者に対しても食活動を行い関心を高めている

5歳児は米の栽培を行い、納入業者の協力を得て土作りから始めている。訪問時は稲刈りが済み、保育室に、はさがけをして、こどもが、ハサミで少しずつ稲を刈ったことや、おにぎりにして食べることを話してくれた。野菜の栽培は、どの野菜を育てるのかこどもたちで相談して、商店街に苗を買いに出かけ、毎日水やりをして生長を楽しみにしている。行事の後には自分たちで仕込んだ庭の梅ジュースで打ち上げの乾杯をしている。保護者には、給食で好評なレシピを配布したり、懇談会の時には時短レンジレシピのミニライブキッチンを行って好評を得ている。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点（〇〇〇）

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている | ◯ 非該当 |

評価項目7の講評

### 健康教育や安全教育を実施し、こどもが自分の健康や安全に関心を持てるようにしている

年間保健計画を踏まえ、年齢別保健教育を作成し各年齢に応じた健康教育を実施している。内容は手指の清潔や目の保護、歯磨き指導、正しい姿勢などで、手洗い指導はブラックライトを使い可視化をして洗い残しがあるか確認できるようにしている。今後4・5歳児は自分の身体は自分で守る力を養うことを目的として、プライベートゾーンについての健康教育を行う予定である。安全教育は、毎月の避難訓練や防犯訓練の他に近隣の保育園児と一緒に起震車体験を行ったり、職員に対しては嘔吐処理の実践研修を行い非常時に備えている。

### 嘱託医とは日常的に連携が取れ、感染症やこどもの健康について相談している

嘱託医による健康診断を0歳児は毎月、1～5歳児については年に2回実施し、歯科健診も2回実施している。健康診断実施後は健康カードで速やかに保護者に知らせ、受診が必要な場合には看護師から保護者に直接話をしてアフターフォローを行っている。身体計測は、毎月1回実施して健康カードで知らせている。保育を進めるうえで、健康上の配慮を必要とするこどもの情報は職員会議で共有している。また、嘱託医とは日常的に連携が取れる環境があり、感染症発症時の対応やこどもの健康面で分からないことがあった時には相談をしている。

### SIDS（乳幼児突然死症候群）の情報や感染症発症時には速やかに情報を発信している

こどもの健康維持について、入園時のオリエンテーションでプレゼン用ソフトを作成して説明をしている。SIDSの予防についても保護者会やポスター掲示で知らせている。昼寝時は0・1歳児は5分ごとに、2歳児は10分ごとに呼吸、顔色、寝姿などを確認し、3～5歳児は30分ごとに全体確認して記録に残し、SIDSの予防に努めている。感染症発症時には、玄関の保健のお知らせボードに感染症の特徴や発症クラス、家庭看護時の注意点などを記入し掲示している。同時に電子アプリでも配信し、感染拡大の防止に努めている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

**評点（〇〇〇〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | ◯ 非該当 |

評価項目8の講評

### 保護者個々の事情を考慮し、それぞれに応じた柔軟な対応と支援を行っている

保護者の就労状況や個々の事情は、入園時に提出した調査表や面接、送迎時の会話や連絡帳などから把握をして、それぞれの事情に応じた支援を行っている。延長保育の定員は決まっているが、利用人数が少ないので、緊急時や急な残業時のスポット利用を受付けるとともに、土曜保育についても随時の申し込みで受け付けている。利用者調査には「柔軟に丁寧に対応してくれる」「電話をするとすぐに対応してもらえるので助かる」などの意見があり、保護者満足度も高く、保護者に寄り添って柔軟な対応を心がけている。

### 保護者同士が交流する機会の確保や日常のコミュニケーションを大切にしている

職員は、こどもや保護者ファーストであることに力を入れ、思いに寄り添い、安心して子育てができるようにしたいと考えている。送迎時の会話やコミュニケーションを大切に、こどものエピソードについては担任以外の職員からも伝えられるよう心がけている。保護者会は年に2回実施し、保護者同士が交流する機会として懇談の時間を多く設定している。実施後はアンケートをとり、感想や意見を次回に活かすようにしている。個人面談はこどもの姿や育ちの確認をし、育児の相談を受けるなどし年1回実施して、保護者の希望や必要に応じても随時実施している。

### 各種おたよりや保護者会などを通し、園情報や育児情報を発信し、園理解につなげている

園だよりやクラスだよりで園の情報や保育の様子を配信し、毎月の行事やお知らせのほかに、こども同士の会話やつぶやき等にコメントをつけ掲載し、園でのこどもの様子が垣間見える紙面となっている。栄養だより、健やか子育てだよりは区の担当課からの発信で、保健・健康情報や給食の取り組み内容、おやつレシピ等の育児情報が掲載されている。保護者会ではライブクッキングを行い好評であり、0～2歳児については保育参観を実施し、園理解やこども理解につなげている。保護者要望がある保育参加の再開については、実施についての検討をしている。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

**評点（〇〇）**

| 評価 | 標準項目 | |
|---|---|---|
| ◉ あり ◯ なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | ◯ 非該当 |
| ◉ あり ◯ なし | 2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ◯ 非該当 |

評価項目9の講評

### 地域にある図書館や園芸店に出かけ、こどもたちが様々な経験や交流をする機会がある

年長児は、毎月1回図書館に出かけ、一人1冊自分で本を選び、司書とのやり取りを経験している。選んだ本は園で自由に読むことができるようにしている。夏野菜の苗を植えることになり、5歳児は自分たちで選んだ苗の購入のために、園の地域にある園芸店に出かけている。ナスやピーマン、キュウリ、カボチャなどの苗を選び、お店の人とのやり取りを楽しむなど、地域の資源を活用し、こどもたちの経験の幅を広げる機会になっている。お米屋さんの協力でお米の苗を植えたり、収穫の体験をするなどの交流の機会になっている。

### 地域の園に行事のお誘いをしたり、園庭で遊ぶ地域の親子など、職員以外と交流している

月1回、3歳児から5歳児を対象にしたボランティアによるお話会があり、近隣の保育園に声をかけ参加の機会を設けている。ホールでの素話やパネルシアターを一緒に見たり聞いたりして楽しんでいる。園庭開放は月曜日から金曜日の毎日午前と午後に実施しているので、育児相談を含め園庭で親子で遊ぶ姿が見られ、園児も自然に交流している。また、園庭のない近隣園の乳児クラスが園庭で遊ぶ機会や、保育実習生や看護実習生が来て各クラスに入り一緒に過ごす時間があるなど、職員以外の人と交流する機会をもっている。

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|---|---|---|
| 評価項目 | 3-3-2 | 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている |
| タイトル① | 園は拠点園として地域の保育施設や児童館に向けて園の機能を活かした連携を進めている | |
| 内容① | 園の機能と専門性を発揮して、近隣園に向けて公開保育を実施、「生き生きと楽しみながら体を動かし運動機能の発達を促す」を外部講師のもと開催し、近隣保育施設の対象先18園から22名の保育士が参加して学びを共有している。また地区会議参加時に、参加園に園庭の利用を呼びかけており、近隣園から園庭利用の希望が入る事も多い。基本的に乳児使用の金曜日に乳児と一緒に遊べるよう快く迎え入れている。専門職を活かした地域への貢献として看護師や栄養士が年2回ほど児童館に出向き、保健関連や栄養相談等の講演をして地域のニーズに応えている。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|---|---|---|
| 評価項目 | 5-1-4 | 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる |
| タイトル② | 園長の日々の姿勢が浸透しいつでも相談できる風通しの良い職場環境を生み出している | |
| 内容② | 園は雰囲気が良く風通しの良い職場環境を目指し、職員調査でも良い職場風土や職場の雰囲気を評価する声が多くあり園の強みといえる。園長は職員の良いところを些細なことでも見つけ、例えば廊下の糸くずを拾ってくれた職員にも声をかけて伝える事を実践している。また職員が相談したい時は出来るだけ早く聴く事や、個人で話したい場合は別室で全てを聴くことで安心する場合や、アドバイスする場合もあり、傾聴を心がけている。園長のリーダーシップが園の風土を作っており、今後は園長が進めることをリーダーも交えて園長の想いの継承も意識されたい。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|---|---|---|
| 評価項目 | 6-6-1 | 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている |
| タイトル③ | 区のマニュアルで、必要なマニュアルを個別に配布し、定期的に読み合わせをしている | |
| 内容③ | 区で作成している共有のマニュアルの他に、園としてのマニュアルや手引書を作成している。区のマニュアルは事務所の書棚に保管され、いつでも確認できるようになっている。職員には、持っていた方が良いと判断した職員の服務、職員の心得、安全保育の手引き、指導計画の書き方、健やかな育ちを支える保育保健などのマニュアルや手引書を個別に配布し、いつでも確認できるようにしている。年度初めの職員会では、職員の服務や職員の心得を口頭で確認したり、安全保育の手引きを読み合わせして、安全安心な保育ができるようにしている。 | |

《事業所名: 久が原保育園》

| No. | 特に良いと思う点 | |
|---|---|---|
| 1 | タイトル | 年間食育計画を作成し、栽培活動、野菜の皮むき、クッキング等を通してこどもたちが食べ物に興味と関心をもつ食育活動を行っている |
| | 内容 | 楽しく食べるための5つのこどもの姿を掲げ、年齢毎に食育年間計画を作成している。低年齢のこどもは給食材料のそら豆やトウモロコシの皮むきをしたり、5歳児は区の伝統野菜の馬込半白キュウリや三寸ニンジン、サツマイモ、空心菜等の栽培で水やりをして生長を楽しみにしている。園庭には梅、ミカン、サクランボなど実のなる木があり、ジャム、梅ジュース、梅干しを作っている。米は納入業者に泥作りから始まる稲作を教えてもらい、稲刈りや脱穀をしておにぎりにしたり、身近にある果実や育てた野菜を収穫するなど、食に関心が膨らむ経験をしている。 |
| 2 | タイトル | 日々、保育活動中の様子を丁寧に伝えたり保育参観でこどもの様子を見てもらい、こども理解や園理解につなげて信頼関係を作っている |
| | 内容 | 保育活動時のこどもの様子は、連絡帳や活動ボードで伝え、個別のこどものエピソードは送迎時に保護者に口頭で伝えたいと考えて実践している。0～2歳児の保育参観は100%の参加があり、家での様子と変わらない姿を見て安心し、頑張っている姿からもこども理解を深めている。保護者からの要望にはすぐに対応、改善したり、こどもの様子をエピソードを交えて伝えるなどの対応が、利用者調査に職員が愛情をもって接してくれることや、明るく相談しやすいこと等が記入され、保護者の満足度も高く、温かいコメントから相互の信頼関係が読み取れる。 |
| 3 | タイトル | 子育て支援プロジェクトを中心に、地域の子育て家庭に向けた子育て新聞の発行やイベント情報の発信が、園の地域支援を高めている |
| | 内容 | 子育て支援プロジェクトが、地域の子育て家庭に向けたイベントの計画を作成している。「保育園に遊びに来ませんか？」の企画は年間10回計画し、園庭やホールで遊んだり、年度の後半には園の行事に参加したり、栄養士主催の食に関する相談会もある。地域に向けた子育て新聞を2か月毎に発行し、園の子育て事業の内容、栄養や保健コーナー、簡単な遊びを掲載している。新聞は出張所、図書館、園医、銭湯、児童館に置かせてもらい園を認知してもらう取り組みが、昨年年間4組だった園庭開放に4月から6月に9組の親子が参加する変化になっている。 |

| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
|---|---|---|
| 1 | タイトル | 今年度重点に活動する項目を単年度事業計画としてリーダーと一緒に策定し、職員全員と内容を共有して達成に向ける仕組み作りを期待したい |
| | 内容 | 園長は中期計画は策定したが、今年度の事業計画は未策定であり、重点に実施する項目は口頭説明となっている。事業計画は、中期計画から繋げて今年度重点とする項目を掲げ、達成に向けて取り組む運営の考え方となるので、園長一人で策定するのではなく、リーダーと一緒に策定する事でリーダーの育成や職員の周知にも繋がるので早急に対応されたい。また事業計画は中間で進捗を点検し、見直しがあれば修正し、年度末には今年度掲げた項目の振り返りを行い、事業報告としてまとめ、残課題は次年度の実施項目に繋げる仕組みとすることを園に期待したい。 |
| 2 | タイトル | 園の安全計画は職員と深く共有ができていないため、読み合わせして共有し現在実施している各種安全対策と整合している理解を深められたい |
| | 内容 | 園は安全計画を詳細に策定しており、保護者には保護者会で存在を伝えているが、職員に対しては内容の共有ができておらず、園長の安全・安心に対する強い想いで職員の意識を高めている。安全計画には実施すべき全ての項目が月毎に明確になっており、職員全員と内容の読み合わせを行う事や配布して、現在も実施している各種の安全対策が計画の中の仕組みとして活動している事の理解を深める事に期待したい。なお安全計画を保護者や職員が分かるように玄関へ掲示の検討や、計画の推進は安全対策プロジェクトチームが役割として推進する事も検討されたい。 |
| 3 | タイトル | こどもが自分から玩具や教材を選択できるなど、主体的に遊ぶことができる保育環境のさらなる工夫や検討を期待したい |
| | 内容 | 0歳児から2歳児の保育室は、食べる、寝る、遊ぶなどの生活のベースが分かれていて、玩具などは壁側の棚や仕切りの棚を活用して、こどもたちにわかりやすいように籠に入れて配置している。3歳児から5歳児の保育室は、壁側にあるロッカーや棚を活用して、年齢に応じた玩具類を仕分けして配置している。幼児の保育室は決して広くはないので、こどもが主体的に玩具や遊びを選択して遊んだり、じっくり絵本を見たり、読んだりすることができるよう、クラスを横断したコーナーの設置など、遊び込める保育環境のさらなる工夫や検討を期待したい。 |